



2020年8月6日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・エス・ビー
代表者名 代表取締役社長 若尾 逸雄
(コード：9702 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 竹田 陽一
(TEL：03-3490-1761)

(訂正)「2020年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2020年7月31日に発表いたしました「2020年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

1. 2020年12月期第2四半期決算に関する定性的情報(2)財政状態に関する説明①資産、負債及び純資産の状況および②キャッシュ・フローの状況(財務活動によるキャッシュ・フロー)の記載内容に一部誤りがあることが判明したため、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

(添付資料 P. 2)

【訂正前】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、124億70百万円と前連結会計年度末より2億27百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金等の増加額が、商品やその他、繰延税金資産等の減少額を上回ったことによるものであります。

(添付資料 P. 3)

②キャッシュ・フローの状況

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2億16百万円の減少となりました。この減少は主として、長期借入金の返済による支出11百万円、配当金の支払額1億96百万円等によるものであります。

【訂正後】

(添付資料 P. 2)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、124億70百万円と前連結会計年度末より2億27百万円増加いたしました。これは主として現金及び預金等の増加額が、その他やのれん、繰延税金資産等の減少額を上回ったことによるものであります。

(添付資料 P. 3)

②キャッシュ・フローの状況(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は2億16百万円の減少となりました。この減少は主として、長期借入金の返済による支出11百万円、配当金の支払額1億93百万円等によるものであります。

以 上